

■部会 Report

環境部会の活動紹介

環境部会長 山形 秀紀
(株)東洋設計 エネルギー事業部

(1) 環境部会会員

環境部会は現在 31 社 56 名で構成されています。部会員の構成は、風車メーカー/代理店 9 名、コンサル/エンジニアリング 25 名、事業者 19 名、O&M2 名、その他 1 名です。

(2) 平成 28 年度活動報告概要について

環境部会では平成26年度から「風車音」、「鳥類」及び「環境一般」のワーキンググループ(WG)に改組し、これまでの活動を継続展開しました。また、平成25年度から政策部会とともに進めている「風力発電に係る環境アセスメント手続のあり方に関する調査」では、ガイドラインの策定段階まで進めてきました。部会および各WGでは下記のような活動を主に行いました。

1) 環境部会

- ①毎月 1 回の定例部会を開催し、活動報告や取り組みの検討等
- ②政策部会と合同で「風力発電に係る環境アセスメント手続のあり方に関する調査」を行い、検討委員会を 1 回、全体会議を 4 回開催
- ③環境部会から以下の委員会等に参加
 - ・環境省：「風力発電施設立地検討のためのセンシティブティマップ検討会」に委員参加（石原副部会長）
 - ・環境省：騒音等の測定・評価マニュアル等に係る検討会に委員参加（魚崎氏）、オプザーバー参加（橋川副部会長）

2) 風車音WG

- ①環境省風力発電施設から発生する騒音等の評価手法に関する検討会への対応
 - ・関連情報の収集、環境省資料等の精査、

検討、質問・意見集約（パブコメ対応）

- ②環境省風車騒音測定・評価マニュアル検討会への対応

・関連情報の収集、環境省資料等の精査・検討、質問・意見集約（パブコメ対応）

- ③風車音データ分析

・会員各事業者から提供いただいた風車音データの整理・分析

・データ分析から得られた結果の学会発表

3) 鳥類WG

- ①知見の収集、整理、共有

・環境アセスメント学会（東京）、日本鳥学会（札幌）、日本生態学会（東京）「大型風車の建設ラッシュを考える」（札幌）鳥類保護ガイドライン（東京）、北海道猛禽類研究会（札幌）等への参加と報告・共有

- ②アセス助言書対応/鳥類作業部会との連携

- ③普及啓発（シンポジウムの開催）に向けた検討→来年度開催に向けて引続き検討

- ④その他、環境省野生生物課、環境影響評価課等との意見交換を実施

4) 環境一般WG

- ①「環境アセス図書に関する環境省との Q&A」の傾向分析

・JWPA会員から提供されたQ&Aリスト（配慮書10件、準備書16件）を分析し、各図書に対して出されたQの上位30件の抽出と回答事例集のまとめ

- ②環境アセス全般の関連情報の収集・整理・共有

- ③有識者との意見交換会の実施

・「風力発電アセスメント審査の現状と課題」電力中央研究所名誉研究アドバイザー・経済産業省環境審査顧問会風力部会

長 河野 吉久氏 平成 28 年 10 月 25 日
・「コウモリと風力発電事業」NPO コウモリ
の保護を考える会 林 聡彦理事長
平成 28 年 10 月 31 日

(3) 平成 29 年度活動計画

環境アセスメントの迅速化、効率化を図ることを目的として、国内外の情報の収集、知見の集積、関係官庁等諸機関との連携に努めつつ、諸活動を展開していきます。今年度も風車音、鳥類、環境一般の 3WG を設置します。各 WG の平成 29 年度の事業計画の概要は以下のとおりです。

1) 風車音WG

- ①環境省風車騒音測定マニュアル内容の精査・検証
- ②計測評価技術タスク
 - a) 風車音の計測評価技術の実務への適用性検討（風車騒音測定マニュアルを念頭に）
 - b) 事業者提供騒音データの解析検討
- ③制度政策タスク
 - a) 環境省報告書、マニュアルに対する自治体の動きの把握
 - b) 海外の最新動向の把握
- ④アセス助言書タスク
 - a) 風車音測定分析手法ガイドの改訂
- ⑤苦情分析タスク
 - a) 騒音苦情の実態把握と予防策・対応策の整理

2) 鳥類WG

- ①知見の収集・整理・共有
 - a) 意見交換会
 - b) イベント参加
 - c) 情報収集・蓄積・共有
- ②死骸調査整理・解析（事業者提供データ「発電所周辺で発見された鳥類及びコウモリ類の死亡事例に関する情報」の充実）
- ③アセス助言書対応（②を活用した展望、他事業からの知見追加によるさらなる充実）
- ④普及・啓発：シンポジウムの開催にむけ

た準備

- ⑤自主研究：自主研究課題の整理と研究実施にむけた設計
- ⑥その他：行政資料に対する対応等（ガイドライン類に関する意見づくり、必要な意見交換）

3) 環境一般WG

- ①環境アセスメント図書に関する環境省との Q&A 分析（継続）
 - a)平成 28 年度分析結果を報告書にまとめ、データ提供いただいた事業者に報告
 - b)経済産業省電力安全課、環境省環境影響評価課などと分析結果に基づく意見交換
- ②有識者意見交換会（継続）
 - a)専門家・有識者を招き、専門分野に関して講演いただくとともに会員との意見交換を実施（年度内 6 回程度開催予定）
- ③環境アセスメント全般の関連情報の収集・整理・共有

(4) 部会、WG へのお誘い

今年度は、7 月 6 日に JWPA セミナー「風車騒音等測定技術講習会」を開催するなど、より一層部会・WG の活動が活発になっています。

環境部会では、環境アセスメントを中心とした動向や技術情報が豊富にあり、環境省や経産省などとの意見交換会も行われております。各 WG においても最新の情報収集を行い、環境アセスの必要な情報データの収集、検討を行っています。

そこで、協会員の皆様には積極的に部会・WG へ参加いただき、風力発電が直面している大きな課題と一緒に取り組んで頂ければ幸いです。WG 後には懇親会も時々開催されております。

以上